

製品安全データシート

作成.改定 2009年7月30日

1. 製品名及び会社情報

製品名 : f j エッチャント CR-M
 会社名 : 富士技研工業株式会社
 住 所 : 埼玉県戸田市氷川町3-13-2
 担当部門 : 技術部
 電話番号 : 048-434-6401 FAX番号 048-434-6404
 緊急連絡先 : 富士技研工業株式会社 本社 電話 048-434-6401

2. 危険物の要約

GHS 分類

物理化学的危険性

火薬類	分類対象外	自然発火性液体	区分外
可燃性・引火性ガス	分類対象外	自然発火性固体	分類対象外
可燃性・引火性エアゾール	分類対象外	自己発熱性化学品	区分外
支燃性・酸化性ガス	分類対象外	水反応可燃性化学品	分類対象外
高压ガス	分類対象外	酸化性液体	分類対象外
引火性液体	区分外	酸化性固体	分類対象外
可燃性固体	分類対象外	有機酸化物	分類対象外
自己反応性化学品	分類対象外	金属腐食性物質	分類できない

健康に対する有害性

急性毒性（経口）	分類できない	生殖細胞変異原性	分類できない
急性毒性（経皮）	分類できない	発がん性	分類できない
急性毒性（吸入：ガス）	分類対象外	生殖毒性	分類できない
急性毒性（吸入：蒸気）	分類できない	特定標的臓器／全身毒性 （単回ばく露）	区分1 （呼吸器系）
急性毒性（吸入：粉じん）	区分2		
急性毒性（吸入：ミスト）	分類できない		
皮膚腐食性／刺激性	区分1A	特定標的臓器／全身毒性 （反復ばく露）	区分1（歯、呼吸器系）
眼に対する重篤な損傷／眼刺激性	区分1		
呼吸器感作性	分類できない		
皮膚感作性	分類できない	吸引性呼吸器有害性	区分1

環境に対する有害性

水生環境有害性（急性）	分類できない	水生環境有害性（慢性）	分類できない
-------------	--------	-------------	--------

GHS ラベル要素

絵表示又はシンボル



注意喚起語 : 危険

危険有害性情報 :

- ・ 酸化性物質
- ・ 吸入すると生命に危険
- ・ 飲み込み、気道に侵入すると生命に危険の恐れ
- ・ 重篤な皮膚の薬傷・眼の損傷
- ・ 重篤な眼の損傷
- ・ 呼吸器の障害

注意書き

【安全対策】

- ・ この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
- ・ 金属と接触している場合は可燃性ガス（水素）の発生が考えられるので火気は厳禁とする。
- ・ 保護手袋、保護着、保護眼鏡、保護面を着用すること。
- ・ 屋外又は換気の良い区域でのみ使用すること。
- ・ ガスを吸入しないこと。
- ・ 取扱後はよく手を洗うこと。
- ・ 環境への放出を避けること。

【救急処置】

- ・ 吸入した場合：空気の新鮮な場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。必要な場合は人工呼吸。医師の診断を受ける。
- ・ 目に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを容易に外せる場合には外して洗うこと。直ちに医師の診断、手当を受けること。
- ・ 皮膚に付着した場合：直ちに多量の水と石鹼で洗うこと。
- ・ 衣類にかかった場合：直ちに、すべての汚染された衣類を脱ぐこと、又は取り除くこと。
- ・ 飲み込んだ場合：無理に吐かせないこと。医師の診断、手当を受けること。

【保管】

- ・ 日光から遮断し、容器を密閉して換気の良い場所で保管すること。施錠して保管すること。

【廃棄】 内容物、容器を国又は都道府県の規則に従って破棄すること。

3. 組成・成分情報

単一製品・混合物の区別：混合物

国連分類：クラス 8（腐食性物質） 容器等級 II

(化審法 安衛法)	C A S N O	構造式・分類	含有量
(1)395, (1)-629	16774-21-3	硝酸セリウムアンモニウム (NH ₄) ₂ Ce(NO ₃) ₆	10~12%
(1)-394	7697-37-2	硝酸 HNO ₃	2~3%
社外秘	社外秘	複合非イオン系界面活性剤	2.5~4.5%

国連番号：UN 2 0 3 1

PRTR：対象外

ナノマテリアル：対象外

4. 応急措置

眼に入った場合：多量の水で 15 分間以上洗い流した後、医師の処置を受ける。

皮膚に付着した場合：多量の水で数分間洗い流した後、症状がひどい場合、医師の処置を受ける。

飲み込んだ場合：無理に吐かせないこと。医師の診断を受ける。

吸入した場合：直ちに空気の新鮮な場所に移し、安静、保温する。吐き気、頭痛、めまい、呼吸困難等を感じたら、医師の処置を受ける。

5. 火災時の措置

消火方法：有機物と接触して燃えてる場合は、噴霧注水、泡、二酸化炭素等で消火する。

消火剤：水、泡、二酸化炭素。

消防活動装備：防火服、耐熱服、防護衣、空気呼吸器、循環式酸素呼吸器、ゴム手袋
ゴム長靴。

6. 漏出時の措置

- ・ 出火防止のために消火準備する。風下の人を退避させる。
- ・ 少量の場合、ソーダ灰、石灰等の水溶液で中和する。

- ・ 大量の場合は、土砂等でせき止めて出来るだけ回収する。残分はソーダ灰、石灰等の水溶液で中和する。
- ・ 作業は必ず保護具を使用する。

7. 取り扱い及び保管上の注意

【取り扱い】

- ・ 眼、皮膚、衣服との接触を避ける。
- ・ 可燃性及び還元性物質、強塩基、全ての有機化合物から離しておく。
- ・ 容器を転倒させ、衝撃を加え、又は引きずる等の粗暴な取り扱いをしない。

【保管】

- ・ 密封して換気の良い場所に保管。直射日光を避ける。

8. 暴露防止及び保護措置

管理濃度：—————

許容濃度：

AGGIH（98年）；—————

日本産業衛生学会勧告値（98年）；—————

設備対策：局所排気又は発生源の密閉化。ガス検知器、ガス検知管を常備する。

保護具：保護衣、洗眼器、安全シャワー、安全ゴーグル、ゴム手袋、ゴム長靴。

9. 物理的及び化学的性質

外観等：橙黄色透明液体。

沸点：—————

比重：1.14±0.005

臭気：僅かな刺激臭。

10. 安定性及び反応性

安定性、反応性：加熱により、有毒なガスを生成する。

引火点：—————

混触：水溶液は強酸性でアルカリと激しく反応し、金属に対して腐食性がある。

鋸屑、木毛等の有機物と接すると自然発火を起こすことがある。

11. 有害性情報

吸入した場合：呼吸器官系が侵される。眼、喉、鼻に灼熱感、咳、息苦しさ意識喪失。

皮膚に触れた場合：激しい痛みと薬傷。

目に入った場合：失明することがある。発赤、痛み重度の熱傷。

飲み込んだ場合：腹痛、灼熱感。

12. 環境影響情報

分解性・濃縮性：————

1 3. 廃棄上の注意

- ・ この物質のサルファイド化沈殿を作り、PHを7に調整して沈殿を完全にす。不溶物を濾過し、危険物処理場で処理する。
- ・ 廃棄物の処理を委託する場合、処理業者等に危険性、有害性を十分告知の上、処理を委託する。

1 4. 輸送上の注意

運搬に際しては、容器に漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないよう積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。

1 5. 適用法令

労働安全衛生法：施行令別表第3特定化学物質等（第3類物質）

消防法：該当しない。

毒物劇物取締法：該当しない。

化学物質管理促進法：該当しない。

1 6. その他の情報

本製品安全データシート（MSDS）は、現時点で入手できる最新の資料、データに基づいて作成しており、新しい知見により改訂される事があります。また、MSDS中の注意事項は通常の取扱を対象にした物です。製品使用者が特殊な取扱をされる場合は用途、使用法に適した安全対策を実施の上、製品を使用して下さい。また、当社は、MSDS記載内容について十分注意を払っていますが、その内容を保証する物ではありません。

※危険、有害性の評価は必ずしも十分ではありませんので、取り扱いには十分注意をお願い致します。

参考文献

化学品安全管理データブック

化学工業日報社

化学大辞典

共立出版株式会社

化学品法令集

化学工業日報社